

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

フジグラン東広島

(2) 事業所の所在地

〒739-0024 広島県東広島市西条町御菌字4405番地

(3) 業種

百貨店・総合スーパー

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22（2010）年度を基準年度とし、平成25（2013）年度から平成27（2015）年度までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a) 平成22年度	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c) 平成27年度	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー起源CO ₂	5,259	4,907 7.0			5,308 (1.0)	4,538 14.0	0.0
非エネルギー起源CO ₂		0.0			0.0	0.0	0.0
メタン		0.0			0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0			0.0	0.0	0.0
フロン類		0.0			0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計	5,259	4,907 7.0			5,308 (1.0)	4,538 14.0	0.0
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価	昨年は平成25年秋に導入した「BEMS」による「空調の間欠稼働」「照明の時間帯設定」を通年実施、平成26年度の冷夏も追風となり使用電力の大きな削減となる。						

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100

削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

※) 新原単位分母 = (営業面積 + 加工場 + 共用) × (営業時間) = 千m²・千h

従来の原単位分母ではSC内の共用部分の面積が含まれていない為、共用部分の大きな大型店の原単位が悪く試算されるため、上記原単位分母に変更しています。

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

大型店の原単位が悪く試算されるため、上記原単位分母に変更しています。

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a) 平成22年度	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c) 平成27年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	29.6	27.0 9.0			22.2 25.0	20.93 29.0	100.0
実績に対する自己評価							

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100

削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	使用電力量の削減	H23年度：6400千kwh H24年度：5751千kwh 削減電力量：649千kwh	①週間・月間で「使用電力量」の見える化による節電意識の向上 ②「エアコンの管理温度基準」「照明基準」の設定と実施。
2	使用電力量の削減	H25年度：5264千kwh 削減電力量：487千kwh	①BEMSを導入し秋期から空調の抑制稼働を実施。
3	使用電力量の削減	H25年度：4940千kwh 削減電力量：324千kwh	①前年度設置したBEMSによる空調の抑制稼働を通年実施。
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。